

平成 27 年度 政策評価シート

基本構想	戦略的行政運営
まちづくりの方向性	<p>自治体財政が厳しい時代が続くものと予想されることから計画的な行財政運営を進めます。</p> <p>時代状況の変化や町民の要請に応えられる行政を目指して、柔軟で機動的な自治体経営、スリムな行政、他の自治体との連携による広域行政、将来像を実現するための戦略的なまちづくり、広報広聴機能の充実を進めます。</p> <p>また、「自治体経営の力」を向上させるため、まちづくり行政を担う職員の育成を進めます。</p>

取組状況

	重点的方針	内容	実績の推移			備考
			H25	H26	H27	
1	高齢者等の安心な暮らし支援	<p>これまでの取組を踏まえて、町民参加により総合計画の実行管理を行い、基本構想に掲げる町の将来像、3つの理念、まちづくりの方向性に即して、国の政策、社会状況、町民ニーズを把握し、二宮町行政改革推進計画と連携しながら、柔軟で効率的な行財政運営に努めます。</p> <p>情報、相談機能、支援体制の充実強化に努めることによって、効率的・効果的でわかりやすい町民活動支援と、町民との協力・連携によるまちづくりを推進するとともに、町民や町民団体による主体的な活動に対し、適切な支援を行います。</p>	B	B	/	
2	総合計画に基づいた政策マネジメントの推進	<p>町の特徴を活かして、「子育て・子育ての町」として、安心して子どもを産み育てることのできるまちづくりをさらに進めていきます。</p> <p>子どもたちの生きる力を育むために、学ぶ力の育成と体力の向上に取り組めます。</p> <p>福祉、教育部門だけでなく、行政の様々な部門が連携して総合的な取組を行います。</p>	B	B	/	
3	広域行政による自治の推進	<p>多様化する町民ニーズに応えられるように、町民サービスの充実化と効率的な行政運営に向けて、1市2町での広域消防による効率的な消防行政の展開のほか、スケールメリットが期待できる業務や広域的な連携が必要な業務などは、県や周辺市町等との広域行政を推進し、町民の利便性の向上と地域の活性化を図るとともに、広域連携が必要な課題への研究に取り組めます。</p>	B	B	/	
4	「二宮PR」大作戦の展開	<p>基本構想、基本計画に基づき、まちづくり施策の総合的・一体的な取組や、町民や町民団体、民間事業者の協力・連携によって、「生活の質」や町の風景・文化そのものを「二宮ブランド」として定着させ、これを町外にPRすることにより、観光客を集めるとともに、定住人口の増加に取り組めます。</p> <p>そのため、創意工夫を凝らした情報発信等の町の広報活動を強化します。</p>	B	B	/	

町民満足度調査の結果 重要度 100 重要 75 やや重要 50 どちらとも言えない 25 あまり重要でない 0 重要でない
 満足度 100 満足 75 やや満足 50 どちらとも言えない 25 やや不満 0 不満

	設問内容	重要度		満足度		重要度と満足度の差
		前回調査	H27	前回調査	H27	
	スリムで効果的な行財政運営の確立		73.4		48.9	24.4
1	ボランティア活動支援窓口の一元化		68.5		50.3	18.3
2	窓口サービスの充実		77.3		54.3	23.0
3	事業費助成方式の推進		60.5		50.3	10.3
4	町民参加の推進		70.3		49.8	20.5
5	職員研修と政策・法務能力の向上		68.3		49.0	19.3
6	計画的な行財政改革の推進		75.3		47.0	28.3
7	安定的な財政基盤の確立		80.0		43.5	36.5
8	自主財源の確保		79.0		43.8	35.3
9	納税機会の拡充と収納率の向上		76.8		52.3	24.5
10	効率的な情報システム運営		71.5		50.3	21.3
11	適正な公有財産管理		79.8		48.0	31.8
	総合計画に基づいた政策マネジメントの推進		74.1		44.6	29.5
1	適切な土地利用の推進		76.8		42.5	34.3
2	二宮町第2次環境基本計画実施計画の適切な運用		71.5		46.8	24.8
	広域行政による自治の推進		74.8		47.8	27.0
82	広域連携の推進		74.8		47.8	27.0
	「二宮PR」大作戦の展開		77.3		55.0	22.3
85	広報・広聴の充実		77.3		55.0	22.3

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き政策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 政策を推進するためには、施策を改善する必要がある D: 政策全体を見直す必要がある</p>	B
	説明	<p>基本構想「戦略的行政運営」における4つの施策「スリムで効果的な行財政運営の確立」「総合計画に基づいた政策マネジメントの推進」「広域行政による自治の推進」「二宮PR」大作戦の展開について、町民が重要と考える割合と満足度の差に着目すると、「総合計画に基づいた政策マネジメントの推進」について、重要度と満足度の差が大きい。また、個別事業では、安定的な財政基盤の確立、自主財源の確保、適正な公有財産管理、適切な土地利用の推進について、重要度と満足度の差が大きく、さらなる取り組みが求められる。</p> <p>今後、第4次行政改革を着実に推進することで組織体制の強化や持続可能な財政の確立に努めるとともに、公共施設の再配置や未利用地の活用に取り組む必要がある。</p>

外部評価[まちづくり評価委員会]		
	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き政策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 政策を推進するためには、施策を改善する必要がある D: 政策全体を見直す必要がある</p>	B
意見等	<p>戦略的行政運営について、政策としての方向性は間違っていないが、施策や取り組みを改善する余地は十分にある。</p> <p>行政においては、町民等に対して説得ではなく納得できる説明の仕方、共感を生む説明など会話を成立させるためのコミュニケーション能力、カウンセリング能力向上を含む職員の基礎力を上げることが必須となる。</p> <p>行政運営を戦略的に進めるには、縦割りではなく横断的に施策を進める必要があり、全ての施策を平均的に実施するのではなく、優先順位をつけることも重要である。また、周辺の市町村との連携など、広域行政の幅や枠を広げて推進することも重要となる。</p> <p>行政はアンケートで意見を吸い上げるだけでなく、本音で住民と語り合い、各部署が何のために住民に必要とされ、町民に何を求められて存在しているのかを考えて形にしていくことが重要である。町民参画を推進するためには、町民に任せられる部分を任せられるよう、考え方を説明する行政のコミュニケーション能力が重要となる。</p> <p>自治体経営の力を発揮するためには、IT化を推進するとともにマネジメント能力を高めることが必要であり、改善から改革へ、問題意識から行動へと変革していかねば、政策としての成果はでないと考え。様々な変化に敏感になり、情報をどのように活用していくかが重要であり、総合力を出すためのネットワークづくりを行うことが、戦略的行政運営に繋がると考える。</p>	

町の最終方針[庁内評価委員会]

方向性

基本構想「戦略的行政運営」については、町民満足度調査において重要度が高いものの、外部評価において施策の改善に関する指摘があったことから、これまでの取り組みをベースに、施策を一部改善し、さらなる展開を図る。

政策の実現にあたっては、施策や事業に対し、横断的な発想を広げ、戦略性をもって施策の選択と集中を図ることにより、効果的なまちづくりを推進する。

あわせて、町民に対し、説得ではなく、納得を得られる説明力や、共感を深め、信頼されるコミュニケーション能力をはじめとした、職員の基礎力の向上に取り組むと同時に、横断的に取り組む意識改革を進め、個々の職員が能力を発揮できるよう組織体制の強化を図り、戦略的な行政運営を推進する。

また、時代状況の変化や多様化する町民ニーズに対応するため、町民や民間活力の活用、スケールメリットが期待できる業務や広域的な連携が必要な業務等は近隣市町と協力・連携し、ネットワークを形成することで、行政運営の効率化を図る。

第4次行政改革を着実に推進するため、事務事業の見直しや統廃合等、行政コストの縮減に向けた取り組みにより健全な財政を維持し、コンパクトな自治体に相応しいスリムな行財政運営を進める。